

大内中 学校通信 紺碧

学校教育目標

- 1 意欲をもって学習する生徒
- 2 豊かな心情をもつ生徒
- 3 健康で実践力に富む生徒
- 4 すすんで働く生徒

真岡市立大内中学校 Tel 0285-82-2541
〒321-4405 真岡市飯貝1159
HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/ouchihsc>



大内中シンボル・
キャラクター
『モウモカウ』

真岡市立大内中学校
令和6年度 第11号
令和7年3月発行

暑さ寒さも彼岸までと言われておりますが、いよいよ春分の日を迎えました。桜の開花宣言も秒読み状態、いよいよ春爛漫の季節を迎えます。

さて、学校では10日に卒業式を挙行了しました。今年度の卒業生は51名でしたが、大きな夢と希望をもって、それぞれの進路に向かって巣立っていきました。

1・2年生は、いよいよ進級です。年度末、年度始めの時期は、ややもすると目標を見失いがちな時期でもありますので、一層気を引き締めて1年間の学習の総まとめに取り組むよう励ましてください。また、部活動は本格的なシーズンに入ります。それぞれに課題をもって練習に取り組むとともに、新入生も入ってきますので先輩としての自覚も高めていってほしいと願っています。

保護者の皆様には、1年間、本校の教育活動に対しまして御理解と御協力を賜りありがとうございました。引き続き、子供達の健全育成のために、学校と家庭が一体となった教育活動が展開できますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

卒業生の輝かしい未来を願って！（卒業式式辞より）

校庭の木々からも、確かな春の訪れを感じさせる、今日の佳き日に、保護者の皆様の御列席を賜り、第七十八回の卒業式を挙行できましたことに、心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

さて、51名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。担任の先生方からの万感の思いを込めた呼名に、大きな声で応えた皆さん一人ひとりの返事には、本校での中学校生活を頑張り抜いた満足感と、これから歩む道への強い決意が感じられました。

皆さんは、この3年間、大内中学校の生徒として、本校の良き伝統を守り、さらに新たな大内中を創造し、何事にも意欲的に取り組んできました。特に、義務教育最後の1年間となった今年度は、日々の学校生活はもちろん、各種学校行事や部活動等で常に1・2年生をリードし、大いに活躍してくれました。中でも、部活動において、日々の練習に真剣に取り組み、大会やコンクールなどにおいて、すばらしい活躍を春夏秋冬、見せてくれました。さらに校内の行事では、生徒会を中心とした運動会や紺碧祭、合唱コンクールは実に見事で、来校した方々に感動を与える素晴らしい祭典となりました。おそらく、皆さんにとってもこの一年間は、忘れることのできない充実した一年となったことと思います。私にとっても、この一年間は、多くの喜びや感動を皆さんから与えてもらった一年でした。今も鮮明に思い出されるのが、運動会や合唱コンクールでの皆さんの姿です。運動会での大縄跳びスタート直前の緊張した表情、跳び終えた後の満面の笑み、友と喜び合う姿、魂のこもった応援合戦の姿。合唱コンクールでは、クラス全員の心を一つに合わせ歌う姿、心を揺さぶるような合唱は、会場にいるすべての人を感動させてくれました。そして、教育のすばらしさを、改めて感じさせてくれたことに、感謝したいと思います。本当にありがとう。

さて、卒業生の皆さんとのお別れにあたり、皆さんに最後のメッセージを贈りたいと思います。メッセージは三つです。その一つは、「夢を叶えるための努力をすること」です。人生は、よくマラソンに例えられます。約四十二キロの距離を走りきるのとは簡単なことではありません。ある時は、足の痛みや苦しめられ、途中であきらめてしまいうことになることもあります。でも、目標のゴールにたどり着くためには、一歩一歩、歩みを止めずにゴールを目指して前に進むしかありません。そして、沿道には、たくさんの人が応援していて、その声援を自分の力に換えて頑張ることができるのです。これからの皆さんの人生にも苦しいことやつらいことがあるかもしれませんが、でも、一歩ずつ歩みを止めずに、周囲の応援に耳を傾けて、夢や目標を目指して頑張ってください。

二つ目は「命を大切にすること」です。戦争や災害で、事故や事件で、あるいは、病気により、多くの失われた命があります。生まれてこれなかった命もあります。皆さんがこの世に生を受け、こうしてこれまで立派に育ったこの奇跡を大切にしてください。すべての命は尊く、かけがえのないものです。だから、自分の命も、人の命も、大切にしてください。そして、この与えられた命を生かして、これからの社会を担っていく一員として、社会のために、自分が何ができるのかを問い続け、人の役に立てる大人になってほしいと思います。

三つ目は、「感謝の心をもつこと」です。今日、この会場で皆さんを見守っている御家族や先生方は、ひたすらに皆さんの成長を願い、支え続けてきました。いつも、いつも皆さんの笑顔喜び、苦しみや悲しみに心を痛め、ひたすらに健やかな成長を願い、この日を心まわしにしてきました。今の自分があるのは、自分の努力はもちろんですが、家族、先生、友達、地域の方々が、自分を導いてくれたおかげであるとことを胸に刻んでください。「夢を叶えるための努力をすること」「命を大切にすること」「感謝の心をもつこと」この、私からのメッセージを心隅におきながら、これからの人生をしっかりと歩いてほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。義務教育九年間を終えた我が子の晴れ姿を前に、感激もひとしおのことと思います。また、本校の教育活動に対し、様々な御支援・御協力をいただきましたことに、重ねてお礼申し上げます。お子様の成長に、本校教職員も共に、関わらせていただきましたが、思い至らず、御迷惑をおかけしたこともあったかと思ひます。何とぞ、御容赦ください。お子様は、本日、本校を巣立っていくこととなりますが、今後とも本校教育活動への変わらぬ御支援をいただけますよう、お願い申し上げます。それでは、51名の卒業生の、輝かしい前途に幸多かれと祈り、「式辞」といたします。

令和7年3月10日 大内中学校長 上野 光男

【卒業式 3/10(月)】

雲一つない最高の天気のもと卒業式が行われ、51名が巣立っていきました。卒業生・在校生ともに立派な態度でした。特に卒業証書授与では、大きな返事や堂々とした姿に3年間の成長を感じました。



校長式辞（表面参照）のあと、在校生代表の大関歩果さんから心のこもった送辞がありました。

- ・部活などで不安だったが、先輩方は優しく迎え入れてくれ、励まされた
- ・部活や各種行事などでの真剣な姿はとても輝いていた
- ・特に紺碧祭では、先輩方の活躍に震えるほど感動した
- ・先輩方のバトンを引き継ぎ、先輩方に追いつくようがんばりたい

そして卒業生代表大田和杏奈さんから感謝の気持ちあふれる感動的な答辞がありました。

- ・毎日がドラマのようだった
- ・行事をとおして大内中生としての自覚が大きくなった
- ・部活動で成長することができた
- ・いつもそばには仲間がいた
- ・いつも見守ってくれた先生方に感謝
- ・在校生の活躍に期待している
- ・家族がともに駆け抜けてくれた
- ・3年間幸せだった

最後に卒業生合唱として合唱曲「正解」を指揮：大木梨萌音さん、伴奏：川口椿さんで、気持ちのこもった最高の合唱を披露しました。



とても感動的な卒業式でした。素直な卒業生たちらしい、あたたかい式だったと思います。なお、全体の式に参加できなかった生徒にも、後日卒業証書を渡しました。



卒業生のこれからの活躍を心からお祈りしております。

※学校のホームページも御覧ください。
よろしければ♡(いいね)ボタンを押してください。

